**今月の表紙**

6月4日、おおさき宝大使で元横綱の白鵬翔さんが図書館（来楽里ホール）を訪れ、令和3年9月に現役を引退したことと、年寄「間垣」を襲名したことを報告しました。

　間垣親方は、平成23年に発生した東日本大震災で、沿岸部からの二次避難者を受け入れていた鳴子温泉地域に慰問に訪れたことが縁で、おおさき宝大使に就任し、以来、本市の観光PRや義援金寄付など、本市を継続的に支援していただいています。

　宮城野部屋大崎ファンクラブの大沼悦子会長から、花束を受け取った間垣親方は、「親方として今後も交流を深め、引き続き大崎市を応援していきたい。鳴子温泉の魅力を世界中に伝えていきたい」と、力強く語りました。

**広報おおさき7月号　2022　No.196**

**Main Contents　目次**

04 第26回参議院議員通常選挙

06 新型コロナウイルスワクチン接種情報

08 「SDGｓ未来都市」と「自治体SDGｓモデル事業」に選定されました

09 CITY TOPICS

10 Discover OSAKI

11 OSAKI Culture

12 オオサキプレイガイド

14 くらしの情報 市職員を募集します ほか

24 子育て支援情報　ほか

26 相談コーナー

28 Main Dish

**「湯けむりマルシェ」運だめし抽選会を開催します**

　JR東日本が運行する「トランスイート四季島」の鳴子温泉駅来訪にあわせて、「湯けむりマルシェ」を開催しています。7月は、豪華景品が当たる特別抽選会を開催します。

　「湯けむりマルシェ」へ、ぜひお立ち寄りください♪

日時　7月7日㈭・14日㈭・28日㈭

　　　8時～10時30分

場所　鳴子温泉ゆめぐり広場

　　　（鳴子温泉字湯元108）

抽選　「湯けむりマルシェ」で買い物をした人

　　 に抽選券を配布

写真：大崎地域の特産品などが並ぶ「湯けむりマルシェ」

**みんなで知ろう！考えよう！行動しよう！**

**Let's! 男女共同参画**

Vol.2　人権尊重と暴力のない社会のために

問い合わせ まちづくり推進課男女共同参画推進室 電話23-2103

　市では、子どもたちへの男女共同参画や、人権尊重の理解を進めるための取り組みを行っています。

　中でも、中学生を対象とした「デートDV予防学習会」では、「人間関係とコミュニケーション」、「性・生命の大切さ」をテーマとして、「自分と相手の心と体を傷つけない」ことの大切さについて学びます。

　デートDVとは、恋人間でおきる暴力のことをいいます。暴力には、身体的だけでなく、侮辱や脅迫、行動を支配するなどといった精神的暴力、経済的、性的などさまざまな形の暴力があります。健全な対人関係には、安心感がありますが、家族や友人に話せないなど、不安や恐怖感が増していく場合には、その関係について考え直す必要があります。学習会では、そのようなときに一人で悩まず、相談することの大切さと信頼できる相談機関を伝えています。

　互いの人権を尊重し、暴力のない安心して生活できる環境こそが、男女共同参画社会の大切な基盤となります。

**パタ崎さんの食育コラム**

その15　クックパッドのアカウントを開設しました！

問い合わせ 世界農業遺産推進課企画調整担当 電話23-2281

　大崎市食育推進協議会では、食育の取り組みの新しい情報発信として、料理レシピサービス「クックパッド」にアカウントを開設したよ。みんなが健康で心豊かに暮らせるよう、世界農業遺産「大崎耕土」の豊富な食材を生かしたレシピを発信するよ。

　誰でも簡単に作ることができるレシピや学校給食を家庭用にアレンジしたレシピ、食生活改善推進委員さんが考えてくれた健康的なレシピの情報を掲載するからぜひチェックしてみてね。

　日々の献立作りの参考にもなるよ。

　これからも定期的にレシピを掲載していくから楽しみにしてね♪

**オオサキワンダーミュージアム　人と大自然の青空博物館**

Vol.27　大崎地域世界農業遺産推進協議会のインスタグラムをはじめました！

問い合わせ 世界農業遺産推進課自然共生推進担当 電話23-2281

　大崎地域世界農業遺産推進協議会（以下、協議会）では、屋根の無い博物館「フィールドミュージアム」構想のもと、世界農業遺産「大崎耕土」の地域資源の「見える化」に取り組んでいます。その一環として、協議会のFacebookページ作成に加え、Instagramのアカウントを開設しました。

　Facebook同様、大崎地域1市4町で取り組んでいる世界農業遺産「大崎耕土」に関する活動の最新情報などを発信していきます。Instagramでは、写真やショートムービーを投稿し、キーワードにハッシュタグ（＃）を付けることで、情報共有を行うことができます。これまで以上に、世界農業遺産「大崎耕土」の「見える化」を意識して情報を発信していますので、ぜひ協議会のアカウントをフォロー、もしくは「＃osaki\_giahs」で検索してみてください。

**市長コラム　天地人**

SDGs、DX推進へ

　ひと月ほど前から、市役所本庁舎に「SDGｓ未来都市 大崎市」の新たな懸垂幕が掲げられております。

　SDGｓとは、国際連合の「持続可能な開発目標」です。

　我が国では「SDGｓアクションプラン」を策定し、経済、社会、環境の3つの側面におけるポテンシャルが高い都市の取り組みを選定、認定しており、本市は5月20日、内閣府からSDGｓ未来都市の認定を受けました。

　SDGｓの取り組みは、少子高齢化による人口減少に加え、デジタル化、感染症対策、防災対策など、新たな課題が顕在する中、宝の都（くに）・大崎の実現に向けた次のステージにステップアップを目指す本市の羅針盤になるものです。

　ラムサール条約登録地、世界農業遺産の下地に磨きをかけ、さらなる高みを目指してまいります。

　また、政府では「デジタル田園都市国家構想」を推進し、デジタルの力で社会課題を解決し、地方から全国へのボトムアップでの成長を実現するとともに、地域の活性化につながる持続可能なまちづくりを推進しております。

　本市は、その実現を図る一環として、リーディングカンパニーとして、世界に羽ばたく凸版印刷株式会社（社長の麿秀晴 氏は、大崎市松山地域出身で、おおさき宝大使を務めている）と、「デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進に関する連携協定」を5月25日に締結しました。

　SDGｓとデジタル化の体制を整え、デジタル田園都市の実現に挑んでまいります。